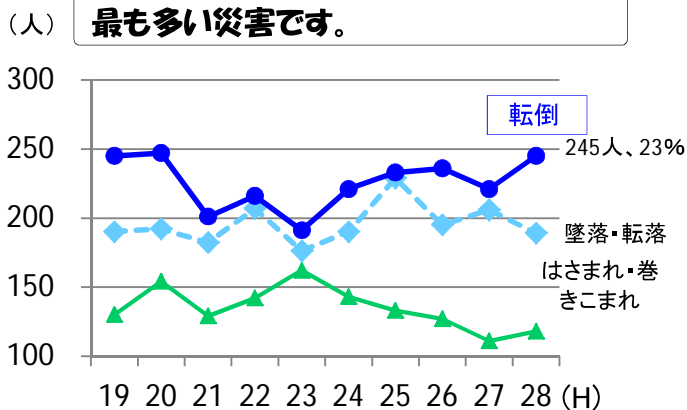


STOP！転倒災害プロジェクト

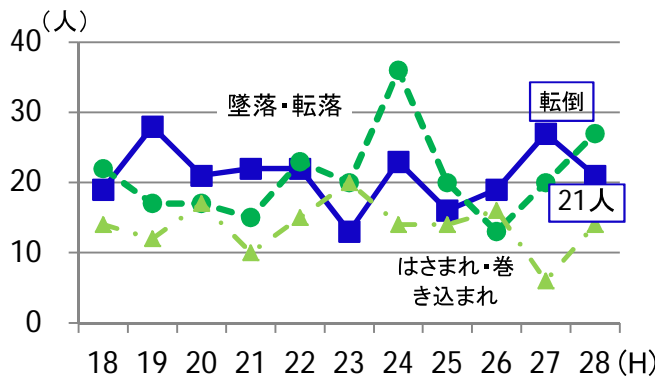
昨年、県内で仕事中に転倒して4日以上仕事を休む方は、全体の2割ほどで、労働災害の種類では最も多くなっています。当署管内では対前年比6人（22.2%）減少していますが、依然として全体の約20%を占めて墜落・転落に次いで多くなっています。

転倒災害は佐賀県全体でも2割を占め最も多い災害です。



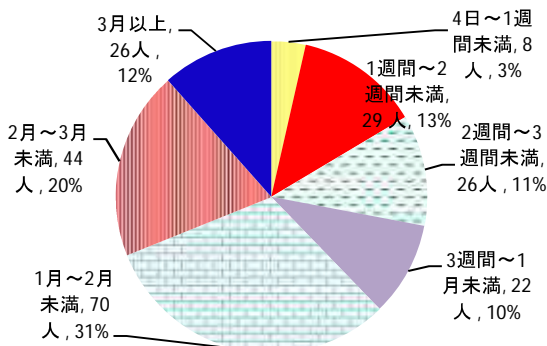
出典：佐賀労働局 労働者死傷病報告「事故の型別死傷者数の推移」

平成28年の転倒災害は21人となっています



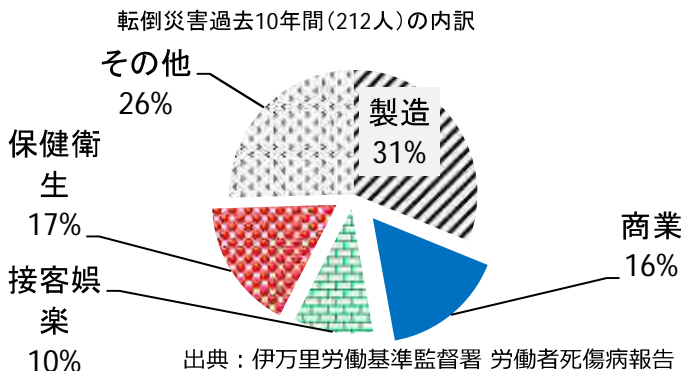
出典：伊万里労働基準監督署 労働者死傷病報告「事故の型別死傷者数の推移」

転倒災害は重症化しやすい災害です。



出典：佐賀労働局 平成28年1月～12月 労働者死傷病報告

非製造業で全体の67%を占めています。



出典：伊万里労働基準監督署 労働者死傷病報告

Step①

転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。あなたの職場にも、似たような危険はありませんか？

滑り



[主な原因]

- ・床が滑りやすい素材である。
- ・床に水や油が飛散している
- ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている

つまずき



[主な原因]

- ・床の凹凸や段差
- ・床に放置された荷物や商品など

踏み外し



[主な原因]

- ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業



Step②

転倒災害防止対策のポイント

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

設備管理面の対策

[4S(整理・整頓・清掃・清潔)]

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法

[あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない



その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起



Step③

進めましょう 転倒予防の準備運動

加齢とともに進行する身体強度や運動機能の低下の予防は転倒災害の予防になります。
(つま先を上げとかかと立ち)
つま先かかと立ち4回×2セット



Step④

転倒の危険をチェックしましょう

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。「転倒」という身近なテーマから職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境の実現に向けて、「**STOP！転倒災害プロジェクト**」を実施しています。

プロジェクトの効果を上げるため、積雪や凍結による転倒災害の多い**2月**と全国安全週間の準備月間である**6月**を重点取組期間とします。

詳しくは厚生労働省 ホームページをご覧ください！
「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！転倒

検索